

(様式1・小学校用①)

# 令和6年度 学校評価報告

草加市立新里小学校

(令和7年2月13日作成)

<b>1 学校教育目標</b>  かしこく（知） なかよく（徳） たくましく（体）	
<b>2 重点目標・努力目標</b> ・学力の向上 【わかる、できる学びと ともに楽しい学び】 ・豊かな心と規律ある態度の育成 ～今日も楽しい学校 明日も楽しみな学校～ ・健康教育の推進 ・地域とともにある学校づくり 【家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる】	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果○児童生徒の自己肯定感・自己有用感の向上を目指し、研究発表会を実施した。 ○全教職員で不登校児童ゼロを目指し、共通認識をもって指導することができた。 課題●学力の向上、不登校児童対策、 学校・家庭・地域のより一層の連携

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○全教職員が、学校経営方針を理解し、日々の教育活動にあたっている。 ●校務分掌の在り方を再構築し、組織的に業務が行えるような体制作り
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○国語科、算数科の研究授業を中心とした課題研修の取組により、学びあい高めあう教職員集団となった。 ●全教員のさらなる授業力向上
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○危機管理マニュアルの一部改訂及び、新規項目の作成を行い、全教職員で共通理解のもと、学校の安全管理体制を再整備することができた。 ●保健室利用児童の高止まり
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○倫理確立委員会を核とした研修会を繰り返し行い、情報管理の徹底を行った。 ○不要な備品整理を行い、管理の行き届く環境を整えた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校公開や、学校運営協議会、安心・安全会議等を定期的に行い、保護者・地域との積極的な交流を進めた。 ○PTA活動の抜本的な見直しを行い、持続可能な組織づくりを行った。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○子ども教育連絡会議等を通して、目指す子ども像や方策を共有するとともに、中学校及び幼稚園、保育園との交流を深めた。(合唱鑑賞、生活科授業招待等) ●更なる幼保小中一貫教育の推進

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育計画のもと、各教科・領域の授業時数の見直しを行い、教育活動の改善を行うことができた。</li> <li>●授業時数の確実な確保のための教育計画の見直し</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体化に視点を置いた研究を深めることができた。</li> <li>●学級経営を核とした更なる指導力・授業力向上</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業研究会を通して、道徳授業の指導法・評価方法を共有し、日々の授業実践に生かすことができた</li> <li>●道徳教育の家庭、地域への啓発、連携</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専科担当制による指導法の充実及び、ALTとの連携を充実させ、授業改善を行った。</li> <li>●教員の授業力向上</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的に異年齢集団との縦割り活動を実施し交流活動を行った。</li> <li>○各種学校行事の精選を行った上で実施した。</li> <li>●学級活動の計画的な実施</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域人材の活用や体験的な活動を取り入れ、充実した学習を実施することができた。</li> <li>●年間指導計画の見直しと内容の精選</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導委員会や不登校対策委員会にSWに参加していただくことで、問題解決に向けた協議を深めることができた。</li> <li>●新里小よい子のきまりの抜本的な見直し</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアパスポートを活用して、学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげることができた。</li> <li>●各学年におけるキャリア教育の指導計画の見直し</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの場の検討や支援方法について丁寧に相談を重ね、学校と保護者が連携しながら指導できる体制づくりを行った。</li> <li>○通常学級に在籍する支援を要する児童について、児童実態報告会等で、全教職員と情報共有を行った。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○司書教諭や学校司書を核に、保護者や地域の図書ボランティアと協力して、活動を充実させたことで、全学年の読書量が増加した。</li> <li>●家庭での読書習慣の確立</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AIドリルを導入し、各授業や、業前活動で活用した。</li> <li>●ICTを効果的に活用した指導方法の研究</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修等を通して、教員の人権教育に対する意識が向上した。</li> <li>○各教科や道徳、総合的な学習等と関連させて、指導を行った。</li> <li>●人権感覚育成プログラムの更なる活用</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上	・基礎・基本の定着 [わかる・できる・共に楽しい授業] を目指した授業研究 ・学級経営力向上研修会 ・家庭学習の取組	B	○国語科及び算数科を中心とした校内研修を行い、教員の授業力や意識の向上を実現した。 ○公開授業の機会を増やし、互いの授業を参観し、協議をすることで、各教員の授業力が向上した。 ●基礎学力の確実な定着
	②健康・体力向上	・体育授業の充実と健康教育の推進 ・授業外の健康・体力の向上 ・健康指導と食育指導の充実 ・家庭・関係機関との連携	B	○児童の体力向上を目指し、体育の授業と体育行事を計画的に実施した。 ○外部講師を招聘した歯みがき指導や薬物乱用防止教室を実施し、健康教育を推進した。 ●体育科授業の工夫・改善
	③家庭・地域との連携	・家庭との連携 ・学校応援団との連携 ・学校運営協議会との連携 ・地域人材の活用	A	○学校応援団を拡充し、学校運営の充実を図ることができた。 ○安心・安全応援団会議や学校運営協議会を開催し、学校・家庭・地域の課題を共有・検討し、学校経営に生かすことができた。 ●地域人材の効果的な活用

### 5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 国語科、算数科の研究授業を中心とし、全教員が公開授業を行うことで、お互いに学びあい高めあう教職員集団となった。
- 生徒指導・いじめ防止・不登校対策委員会を機能させ、未然防止、早期発見・早期対応に努めると共に、関係機関とも連携し、児童・保護者に寄り添う支援を行った結果、不登校児童を減少させることができた。
- 学校ホームページの更新をはじめ、学校公開や授業参観、PTAふれあいまつり等で、積極的に地域や保護者に本校の児童の様子を発信することができた。また、学校運営協議会や安心・安全応援団会議等を計画的に開催し、学校・家庭・地域の課題を共有・検討し、学校経営に生かすことができた。
- 教育環境を充実させるため、備品や教材を計画的に購入し、整備することができた。

### 6 次年度の改善策

- 日々の授業の振り返りや各種学力テストの結果について詳細に分析を行い、課題を明確にした上で、本校児童誰一人取り残さずに学力向上を実現していく。
- 校内研修、授業研究を通して、さらなる教員の学級経営力の向上を実現していく。
- PDCAサイクルを生かした学校行事等の改善  
PDCAの特にA(改善)の部分を実行。学校行事後に各部署で反省点を検討し、次年度の学校行事を効率よく効果的に実施できるようにする。学校行事や教育活動後、即座にC(評価)、A(改善)、P(計画)を行うシステムを定着させる。